

今求められる **変革** Change

ノブレスグループ



日本ユネスコ協会連盟顧問(元理事)
帝塚山学院大学元教授・国際理解研究所所長

米田 伸次氏



ノブレスグループ代表
(ノブレス・セントラル ワールド・ヘリテイジ
新日本輸送 ノブレス クーデザイン)

川井 徳子氏

対談 米田 伸次氏 × 川井 徳子氏

インバウンド観光の促進で県内でも伸びる外国人観光客。観光業は新たな経済のけん引役として期待される一方、異文化の相互理解、人と人との出会い、そしてそれぞれの地域の「光」を再発見する効用もあるとされる。米田伸次公益社団法人日本ユネスコ協会連盟顧問・元帝塚山学院大学教授がリードする形で、地球規模で考え、自分たちの足元を見つめて行動する「グローバル」という考え方を理念に観光・不動産・物流事業、文化活動などを営む川井徳子ノブレスグループ代表に「つなぐ」観光業の誇りと夢」をテーマに語ってもらった。

つなぐ 観光業の誇りと夢

ローカルアイデンティティを知る

米田 観光を新たな経済のけん引役と指摘する声があります。先日の京都「東山和み館」のオープニング式典で川井代表は、「歴史文化を深く学ぶ」「文化の多様性を大事にする」「世界平和の礎とする」三つの機能があると掲げられていました。私自身はこの三つが観光業のこれらを見据える上で重要なポイントだと思うのですが、川井代表にとって歴史を学ぶとはどのような意味を持ちますか。

川井 私たちが存在する今の空間から、過去を読み、過去から学んで未来を創ることに歴史を学ぶ意味があると思います。私は奈良でホテル、京都でレストランを経営していることから奈良と京都の違いをよく聞かれます。空間は立体的ですから3次元ですが、二つの古都の歴史を読み解く時、「時間軸

を加えた4次元の世界も読み取ることが出来ます。

米田 2001年にユネスコが採択した文化の多様性に関する世界宣言がなされたのですが、これには二つの大きなポイントがあります。一つ目は「文化は民族のアイデンティティであり、二つ目は「文化は人類全体に重要なもので、三つ目は「新たな文化の創造は人と人の交流からなされる」です。文化の開花とは、異なる文化との出会いであり、観光が文化や人の交流のコーディネート役を担っていると思います。

川井 「つなぐ」ということが重要であることを教えていただいたのが米田先生です。当グループのプロジェクトで「英語ハブフォー・マンス甲子園」というものがありますが、米田先生に実行委員として参加いただき、国際理解教育やESD教育(Education for Sustainable Development) 持続可能な開発のための教育) について深い知見で支えていただいています。

米田 ノブレスグループの会社のひとつの社名である「ワールド・ヘリテイジ」は、世界遺産の意味でもあります。実に大きな冠を掲げられたと思うのですが、この社名にはどのような思いが込められているのですか。

川井 奈良が世界遺産に登録されたのがひとつのきっかけでした。また、優れた建築技術やその美しさを愛している自分自身の気持ちを表したかったのだと、皆さまにもその素晴らしさを知っていただきたいという思いで、ユネスコ憲章についても語られていました。

川井 奈良という地で観光業を営む私たちは、日本の源流にあたる哲学や理念を学ぶ「教育旅行」に取り組みしていきたい。生徒の思い出作りの意味合いが強い修学旅行ではなく、大人も含めた知的欲求が満足できる旅のスタイルです。

川井 奈良のローカルアイデンティティを知ることは日本そのものを知ることにつながるのですが、奈良は近現代にも大きな影響を与えています。当グループは陶芸家の宮本憲吉の故郷・安堵町のお手伝いをしています。彼の生家で、元は宮本憲吉記念館として使われていた館を「つなぐ」の郷 T O M I M O T O として再生しました。悠久の和の歴史・自然を五感で感じ、未来に想いをもたせたいという思いで、レストランとホテルを営業しています。8月には同町が隣接して文化観光施設「四弁花」も開業しました。

川井 奈良公園について全体性をもつて説明できていないこととです。それぞれの社寺は自ら多くを語っておられますが、神と仏がなぜ共存できたのかを説明する人はいません。異なる世界観を持った仏教と神道、鹿がオウガイサイとして、自然を象徴して束ねています。現代社会は宗教が対立してい

川井 奈良公園について全体性をもつて説明できていないこととです。それぞれの社寺は自ら多くを語っておられますが、神と仏がなぜ共存できたのかを説明する人はいません。異なる世界観を持った仏教と神道、鹿がオウガイサイとして、自然を象徴して束ねています。現代社会は宗教が対立してい

川井 奈良公園について全体性をもつて説明できていないこととです。それぞれの社寺は自ら多くを語っておられますが、神と仏がなぜ共存できたのかを説明する人はいません。異なる世界観を持った仏教と神道、鹿がオウガイサイとして、自然を象徴して束ねています。現代社会は宗教が対立してい

川井 奈良公園について全体性をもつて説明できていないこととです。それぞれの社寺は自ら多くを語っておられますが、神と仏がなぜ共存できたのかを説明する人はいません。異なる世界観を持った仏教と神道、鹿がオウガイサイとして、自然を象徴して束ねています。現代社会は宗教が対立してい

奈良観光に対する新たな価値を発信

多大な影響を与えた宮本の生き様を感じる場、奈良の文化を深掘りできる場として親しまれています。

世界平和の問題 古都・奈良で解決

ユネスコ憲章から読み解きPRへ

つなぐの強い地域ほど発展傾向

奈良の哲学を学ぶ「教育旅行」に力

観光という「光」が経済のけん引役に



観光業の新たな視点や価値について対談した米田氏(左)と川井氏(右) ホテルソビアル 大阪ドーム前